

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

351

ひとり親家庭等医療費助成事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
取組方針	3	保護・援助を必要とする子供への支援

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	社会福祉費		
	目	福祉医療費		
	大事業	福祉医療事業（こども家庭課）		
中事業	ひとり親家庭等医療費助成事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	こども家庭課	松下 昌弘 435-1219
事業実施の根拠法令	ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例及び規則		関連課			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	母子家庭の母と児童、父子家庭の父と児童、父母のいない児童、母子家庭又は父子家庭に準ずる方と児童に対して、医療費等の助成を行うことにより、その健康の保持を図り、ひとり親家庭等の福祉の増進に寄与することを目的とする。		和歌山市に在住する母子家庭の母と児童、父子家庭の父と児童、父母の死亡や行方不明のため父母以外の者に扶養されている児童、母子家庭又は父子家庭に準ずる方と児童で、児童が18歳になった年の年度末まで、受給者が受けた保険診療の医療費に係る自己負担分を助成、入院時食事療養費自己負担額については半額を助成する。（所得制限あり） 原則として、県内で受診の場合は現物支給として、委託機関を通じて審査支払により医療機関等に医療費を支払い、県外で受診した場合は、受給者からの申請により償還払いとする。			
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	
	医療費の助成	受給資格審査、医療費等の支給、台帳管理及び県への報告等	医療機関に対して支払うが、県外の医療機関等で医療を受診した場合は受給資格者に支払う。入院時食事療養費の助成は、申請により受給資格者に支払う。	医療機関に対して支払うが、県外の医療機関等で医療を受診した場合は受給資格者に支払う。入院時食事療養費の助成は、申請により受給資格者に支払う。	医療機関に対して支払うが、県外の医療機関等で医療を受診した場合は受給資格者に支払う。入院時食事療養費の助成は、申請により受給資格者に支払う。	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	416,299	414,606	420,370	398,729	421,781	404,419	414,017	0	414,017	0
伸び率（%）	0%	0%	1%	△3.8%	0.3%	1.4%	△1.8%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	11,247	14,357	13,427	14,626	14,739	16,108	15,061	0	0
	正規職員以外	1,294	2,157	2,090	2,644	2,681	2,341	2,277	0	0
	小計	12,541	16,514	15,517	17,270	17,420	18,449	17,338	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	208,154	206,854	209,732	202,162	209,018	202,781	206,297	0	206,297	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	20	975	20	368	20	491	20	0	20	0
一般財源（税等）	208,125	206,777	210,618	196,199	212,743	201,147	207,700	0	207,700	0
所要人数 （人）	正規職員	1.41	1.80	1.68	1.83	1.83	2.00	1.87	0.00	0.00
	正規職員以外	0.57	0.95	0.88	1.39	1.50	1.29	1.21	0.00	0.00
主な予算内訳	扶助費 408,152千円、審査支払手数料 9,195千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
受給者数	受給者数	人	目標値					
			実績値	10,157	9,728	9,455		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
償還件数	償還件数	件	目標値					
			実績値	5,814	5,923	5,905		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
助成件数	助成件数	件	目標値					
			実績値	146,296	139,924	141,023		
			達成度(%)	%	%	%	%	%
成果指標	成果指標		目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	ひとり親家庭等に対して医療費の助成を行うことで、親と子の健康の保持を図り、経済的負担の軽減に大きな役割を果たしている。
見直し・改善内容	医療機関等の適正な受診について広報・周知を行う。